



社員・家族とともに

社員にとって働きやすい会社、仕事も私生活も充実させて長く勤められる会社をめざし、さまざまな活動に取り組んでいます。

ワークライフバランスの推進

社員を対象としたイベントやイントラネットによる情報発信を通じた推進活動を行っています。

ワークライフバランス啓発セミナーの開催

ワークライフバランスについての意識啓発や理解向上のため、(株)ワーク・ライフバランス代表の小室淑恵氏を講師にお招きし、社員向けのセミナーを開催しました。小室氏は、「社員の働きがい向上とワークライフバランス～今、それは経営戦略に」と題して、ご自身の体験を交えながらワークライフバランスがなぜ必要なのかについて、わかりやすく、説得力のあるお話をしてくださいました。

「ワークライフバランスの目的は、仕事とプライベートをうまく調和させ、相乗効果を及ぼし合う好循環を生み出すことです。仕事での成果を上げるために『働き方の柔軟性を追求する』ということが、ワークライフバランスの核心になります」。こうした小室氏のお話は、企業と社員の双方がWin-Winの関係を築いていくための経営戦略につながります。

セミナーを受講した社員の中には、初めて「ワークライフバランス」という言葉を知った社員や、セミナーを通じて改めてワークライフバランスの大切さを理解したという社員が多くいました。



(株)ワーク・ライフバランス代表
小室 淑恵 氏



セミナー参加者の声

- 少子高齢化による現在と未来の介護問題を指摘され、具体的な改善策を提言されていると感心した。ぼんやりとしていたさまざまな問題がはっきり見えて良かった。
- 非常に興味深い内容でした。今までは単に育児世代だけの問題だと思っていましたが、これからはワークライフバランスが企業にとっていかに必要かがよくわかりました。



セミナー会場の様子

社員によるパネルディスカッション

社員がパネラーとなり、社内でワークライフバランスをどう実現するかについて、管理職および部下の両方の立場から活発な討論を行いました。受講者からは、「社内でロールモデルの不在を感じていたが、今回の話を聞いて心強く、共感を覚えました」など、ワークライフバランスに前向きな感想が多数寄せられました。



パネルディスカッション



パネラーのコメント

- 育児時間を利用している社員を評価する場合、仕事の量や勤務時間の長さだけではなく、時間あたりの生産性も考慮し、不公平にならないように評価している(女性管理職)
- 部下の男性社員が育児休職を利用する場合はできる限り支援している。男性が家庭や育児に関わるのが本人や子どもに良い影響を与えると感じている(女性管理職)
- 在宅勤務を通じて子どもの近くで働く安心感を得るとともに、地域活動やボランティア活動に参加し、交流の機会を広げることができた(在宅勤務試行者)
- これからも、さまざまなライフステージにおいて、社員がしっかりと前を向いて働ける会社でありたい(日本ユニシス労働組合中央執行委員長)

パパも語りたい——子育て座談会

子育てをテーマに話し合う機会を作るために、2007年6月から日本ユニシス本社内の会議室にて毎月1回「子育て座談会」を開催しています。子どもがいる・いないを問わず、だれでも参加でき、昼食をとりながら、なごやかに子育てに関する話をしています。始めのうちは子育てに慣れないパパたちがベテランママたちのアドバイスをメモするといった場面が多かったのですが、最近では子育てが板についてきたパパたちも、ママたちに負けず劣らず活発に意見を交わしています。

参加者の子どもの年齢はさまざまですが、年齢相当の話題には大いに意見を述べ、“今は昔”の話題であれば昔を懐かしみながら経験談を披露し、先の問題であれば、子どもの将来を夢見ながら聞くなどと、みなさん楽しく参加されています。

これまでに挙がった話題は、赤ん坊の夜泣き、離乳食、病児保育、育児休職、習いごと、私立中高受験事情、PTAや地域活動への参加など実にさまざま。自分と同じ悩みを他人も抱えていることを知って安心したり、経験者からのアドバイスで解決の糸口をつかんだり、また、育児休職を取得したいと考えている男性が休職経験者のパパから制度取得に関する具体的な話を聞くといった場にもなっています。毎回新しいメンバーも加わり、社内での新しい出会いも楽しみとなっています。

座談会の様子は毎回社内のイントラネットで紹介しており、座談会に参加できない社員からメールで意見や質問をもらうこともあり、子育ての輪が広がっています。



子育て座談会



子育て座談会 参加者の声

- 世の中に子育て体験談の類は数多く出ていますが、同じ会社で働いている社員の話は一般的な情報よりはるかに参考になり、また勇気づけられます。
- 今まで男性同士で子育てについて話をする機会はほとんどなかったので、とても新鮮に感じられました。
- 子どもは小学生になりましたが、座談会に参加して、産まれたときの不安だった状況を思い出しました。お役に立てるなら、今後も参加していきたいと思えます。

WLBポータルサイトの開設

仕事と私生活をより充実させるために役立つ情報発信として、イントラネットによるワークライフバランス (WLB) ポータルサイトを開設しました。

日本ユニシスグループ内でのワークライフバランスの考え方に関する社長・役員の声や両立支援制度を利用してワークライフバランスを実践している社員の声を紹介しているほか、社内外でのワークライフバランス推進活動や関連情報などを掲載しています。舛井社長の言葉「制度の利用は会社のためになる」の意味するところを社員が正しく受け止め、実践するように推進しています。仕事と私生活の調和を図り、人生を豊かに充足しながら生きていくことができれば、変化する時代や社会に適応した新しい生き方をきっと見つけられるはずです。



WLBポータルサイト